

## 第1回懇話会後の調整状況等

懇話会で出された検討事項等	委員	これまでの対応状況	今後の方針等（案）
自殺者数等に関し、地域（区）ごとの詳細分析	中村委員	資料3-2のとおり、分析を行った。	—
相談機関の認知度に関し、カテゴリーごとの詳細分析	平野委員	資料3-3のとおり、分析を行った。 その分析に基づき、職域連携におけるメンタルヘルス対策セミナーでは、講師と特に調整し、「相談機関や医療機関の探し方」を講演内容に含めてもらった。また、オンラインで実施した市民講演会では、各所に「相談機関一覧ホームページ」へのリンクを埋め込んだ。	引き続き、「稼働年齢の男性」等に対するアプローチを意識していく。
相談機関一覧ホームページに関し、印刷及び検索等の利便性の向上、積極的な周知	梨谷座長 小林委員	ホームページの掲載内容の随時更新等を行った。 ホームページを周知するためのカード（36,000枚）、ポスター（700枚）を作成し、各所に配布した。 SNS（堺市Twitter/Facebook）も積極的に活用した。	引き続き、掲載内容の更新を行いつつ、多様な媒体を活用して周知していく。 利便性の向上についても、検討していく。
ゲートキーパー研修に関し、教育分野（大学を含む）、高齢分野（ボランティア団体を含む）、病院への周知の強化	中村委員 秋元委員 山田委員 平野委員 梨谷座長	大学（2か所）で実施すると共に、当市の関係各課が集まる庁内連絡会において、更なる連携要請を行った。 また、地域包括支援センターや保健センター等に対し、地域活動での利用を促す周知活動を行った。	引き続き、庁内連絡会での連携を強化していく。 高齢分野においては、自殺者の多いエリアを中心に、地域包括支援センター等の地域活動での利用を促進していく。 医療分野においては、救急告示病院との連携構築の中で周知を検討していく。